

<放射線診断科>

一般（教育）目標

医師としての基本的な姿勢を身につけるとともに、画像診断に特化した研修を通して、画像診断の基本的原理、各疾患の画像所見、臨床における画像診断の役割を学ぶ

（具体的）行動目標

基本姿勢

- (ア) 画像検査の現場に立会い、自ら診断を行うことで、臨床医に必要な画像診断の基礎知識を身につける

検査・手技

- (ア) CT・MRI 検査における造影剤注入の手技を学ぶ
- (イ) 造影剤使用の適応・禁忌・副作用発生時の対応を学ぶ

画像診断

- (ア) 単純写真・CT・MRI 検査の基本的な原理、撮像方法を理解する
- (イ) 各画像検査の長所と限界を知り、各疾患における適切な画像診断の選択を学ぶ
- (ウ) 各画像検査を読影し、正常解剖および各疾患の画像所見を理解する

Interventional Radiology (IVR)

- ・IVR 治療の適応について学ぶ
- ・IVR 治療における戦略および具体的な手技について学ぶ

学習方略 (1)

CT・MRI 検査の当番を担当し（週 1～2 回程度）、造影剤注入の手技を行う。また、検査目的に対してどういった検査が実際に行われているか学習する

1 日 5 件前後の画像検査の読影を行う。教科書などを参考にしつつ、異常所見の拾上げ、所見の解釈、鑑別診断を行う

上級医の指導のもとで、画像診断報告書を完成させる。所見の解釈などについて上級医と議論しつつ、検査目的に沿った適切な報告書の作成を目指す

IVR 治療に助手として参加し、上級医の指導のもとで、IVR 治療の適応、治療前のプランニング、手技の実際を学ぶ

学習方略 (2) 勉強会・カンファレンス・学会など

科内の定期カンファレンスに出席し、自らが診断した症例の提示を適宜行う

院外で開催される学会・勉強会・セミナーに積極的に参加する（上級医が適宜推薦する）

週間予定（例）※随時、他科コンサルテーションなど

	月	火	水	木	金
午前	画像検査の 読影	画像検査の 読影	画像検査の 読影	画像検査の 読影	画像検査の 読影
午後	CT・MRI の検 査当番 （半日を週 1 ～2 回程度）	CT・MRI の検 査当番 （半日を週 1 ～2 回程度）	CT・MRI の検 査当番 （半日を週 1 ～2 回程度）	CT・MRI の検 査当番 （半日を週 1 ～2 回程度）	CT・MRI の検 査当番 （半日を週 1 ～2 回程度）
			呼吸器カンフ ァレンス（週 1 回） 神経放射線カ ンファレンス （月 1 回）		科内カンファ レンス

EV 評価

PG-EPOC による評価方法（研修医⇔指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、PG-EPOC 評価システムに入力すること